

株式会社岸本組

所在地 美唄市字光珠内652番地 17

従業員数 43人

事業内容 建設業

(令和6年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

従業員の平均年齢も上がってきており、定期健康診断で要受診者やメタボリックシンドロームに該当するものが増えてきたため、会社として従業員の健康維持・増進に取り組むために健康経営優良法人を目指しました。

ヘルスアップチャレンジを経て2018年より健康経営優良法人の認定を頂いておりますが、定期健診後の要治療・再検査の受診率や特定保健指導の受診率が上がり、従業員の健康に対する意識も変わってきているのではないかと思います。

当社の経営方針の一つでもある『Humanity 働きやすい環境を作ります』をさらに推進できるよう、これからも積極的に健康経営に取り組んでいきたいと思っています。

特に力を入れた取り組みとその効果

30歳以上の従業員が人間ドックを受検した場合、費用の一部を補助しています。

ヘルスアップチャレンジ助成金で血圧計を購入。継続して測定することで自身の健康状態を把握でき、生活習慣の改善に役立っています。

毎年どけんぽの保健師さんと管理栄養士さんによる健康相談を実施。令和4年より健康相談時にカゴメのベジチェックも行っていたいただき、野菜不足を認識した者がお昼にコンビニでサラダを一品追加したり、菓子パンをサンドイッチに変えたりして、従業員の健康に対する意識も変わってきています。

『みんなで歩活』に会社として参加し、役員や普段本社にいない従業員と競い合っています。メンバーの歩数が一目瞭然なので普段より多めに歩いたり、昼休みに会社の周りを歩いたり、休みの日にウォーキングに出かける者もいて良い運動になっています。

従業員の運動不足解消のため、毎日午後3時にタイマー予約をしたUSEN放送にてラジオ体操を実施。パソコンでの作業が多いため、肩や腰のコリがほぐれてリフレッシュに一役買っています。

社屋の出入り口には消毒液を配置。トイレには便座クリーナーと消毒液・ペーパータオルを配置し、感染予防に努めています。

子の入学・卒業、授業参観、配偶者誕生日休暇等のアニバーサリー休暇の導入により、家族との時間を積極的にとることが出来るよう配慮しています。



現場事務所でどけんぽによる健康相談を実施



地域貢献と運動を兼ね美唄クリーン作戦に参加

ホームページ

<https://www.kishimoto-group.com/category/news/ヘルスアップチャレンジ健康事業所宣言/>

道路工業株式会社

所在地 札幌市中央区南8条西15丁目2番1号

従業員数 180人

事業内容 建設業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

日常を快適に過ごすには、健康が第一です。従業員の健康意識を高めるには、従業員とその家族の安全と健康を維持し、働きやすく快適な職場をつくることが会社の責務と考え、健康経営に取り組んでいます。

会社施設内の禁煙や、働き方改革の一環として積極的な有給休暇の取得を促進し、リフレッシュできるような職場環境づくりにも力を入れています。

健康管理がより身近なものになるよう今後もより良い環境を整え、継続的な健康経営に取り組んでいきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

定期健診は、受診費用や腫瘍マーカー等一部オプションを会社にて負担し、対象者全員が受診できる制度を設けています。全従業員の定期健診を行うことはもちろんですが、再検査・精密検査を促進し、さまざまな病気の早期発見・早期治療や、病気そのものを予防することに取り組み、生活改善につながるよう再受診率100%を目指しています。その結果、従業員の健康管理に対する意識が変わっているように見受けられます。

また、全社員を集めて行う社内研修において健康に関する講師を招いての講話を実施し、毎年1年間の安全を祈願する安全祈願時にコミュニケーションの一環として、ゲーム大会やBBQをすることにより、風通しの良い職場づくりを行っています。

現在、各事業所に非接触型体温計や手指の消毒液を入口に設置して、コロナ感染症対策を行っています。



社内研修 健康に関する講師を招き講話を実施



各事業所に非接触型体温計を設置

株式会社佐々木組

所在地 岩手県一関市山目字中野140—5

従業員数 124人

事業内容 総合建設業

(令和6年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社は、多年にわたり、土健保の保健師さんより毎年保健指導を頂き、健康の大切さを経営者はじめ従業員も実感し、会社独自の健康づくりを実践してきました。

毎年の健康管理を通して、一人一人の従業員を大切にする弊社の企業理念は、従業員の健康を経営的視点から考え、戦略的に実施する「健康経営」と価値観を共有でき、健康経営を実践することで、より継続的な会社経営活動の活力と成長につながると考え、取り組むこととしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

年に1度の生活習慣病健診は大変重要で、疾病を発見することで、早期に治療するきっかけとなり、生涯において大きな影響を及ぼすことがあります。弊社では所見があった従業員にできるだけ対面で声掛けをして、医療機関への受診を促すことを丁寧に行っていました。後日、感謝の言葉を頂くと励みにもなります。

また、メンタルヘルス対策として、予防から職場復帰後まで、きめ細やかな対応に努めています。男女2名の担当者による相談窓口を設け、職位・職種の垣根なく相談できる体制を作りました。相談担当者を1人に固定しないことで「相談しやすい」と社員からも好評です。休職者へは、病院の情報提供や休職中の状況確認を行うだけでなく、復職後もこまめに声掛けをしています。そのせいか、復職後も元気に働いてくれていると感じています。今後は、産業医からのメンタルヘルスについてのアドバイスを継続し、担当者も相談対応等をより一層レベルアップさせ、社員がもっと元気で長く働いてくれるよう支援したいと考えています。

さらに、感染症対策として毎年、産業医によるインフルエンザ予防接種を実施し、感染拡大の抑制に効果を上げております。



担当者間で創意工夫し健康管理を推進（密）



職場内での感染症対策

林興業株式会社

所在地 福島県いわき市植田町根小屋65番地の1

従業員数 27人

事業内容 建設業

(令和7年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社が健康経営の必要を感じたきっかけは、社員の高齢化です。貴重な人材を守るためには、一人ひとりの健康意識を高めることが重要であると感じ、経営的視点からも健康づくりを推進している健康経営の考え方と一致しました。経営者と従業員が共に健康づくりに取り組むことは、会社全体の健康知識が高まるだけでなく、コミュニケーションも生まれ、心身の充実や働く意欲に影響し、働きやすい環境づくりにもつながります。社会の状況は刻々と変化しており、労務・健康管理者も頭を抱える場面が多くありますが、健康経営の知識を拠り所としながら、今後の方向性や問題点について考えることが出来ています。建設業界全体が抱えている慢性的な人手不足を乗り越え、未来につなげるためにも、健康経営の考え方を上手に取り入れた健康づくり活動を続けて行きたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病予防のため、定期健診時には、より検査項目の多い人間ドックを受診するよう促し、会社が費用補助を行うほか、様々なオプション検査もお勧めしています。健診事後指導の重要性を考えて、就業時間内に保健指導が受けられるよう配慮し、職場環境も整備しました。感染症対策においても、就業時間内に医療機関を受診することを可能としているほか、予防接種後の休暇制度を設けるなどして接種を促しています。なお、社内には検温・消毒を設置して感染拡大防止に努めています。また、健康講話、栄養の啓発ポスター掲示、声掛けなど、日々の健康指導も積極的に行っています。

新たな取り組みの「社内禁煙」では、市の「空気のきれいな施設」の認証を受けることができました。「望まない受動喫煙のない環境づくり」を目指して、ポスターの掲示や配布を始めとした喫煙者へのアプローチも続けていきます。



健康講話で丈夫な体を作る食事を学びました



環境を整備して「空気のきれいな施設」認証

ホームページ

<http://hayashi-kougyou.co.jp>

株式会社復建技術コンサルタント

所在地 宮城県仙台市青葉区錦町一丁目7番25号

従業員数 420人

事業内容 建設コンサルタント

(令和3年4月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社社長の菅原が就任した際、経営の柱として掲げた三つの方針のうちの一つが「健康経営」でした。何事も体が資本であり、社員にはまず心身ともに健康であって欲しいという思いが込められています。

そして、健康経営優良法人認定に挑戦したのは、その方針実現への取り組みを対外的にも認められるものにしようと考えたからです。

健康経営への取り組みは、特に若い方からの企業イメージアップにつながるのは勿論、社員に対するメッセージでもあります。弊社のような建設コンサルタントは人がすべて。社員の技術力と経験が資産かつ商品だからこそ、健康に留意して欲しい。その思いを発信することが大事だと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

弊社では、定期健康診断でメタボ判定となった社員全員に特定保健指導を受けさせています。これをきっかけに食生活の見直しや自転車通勤に切り替える社員もあり、徐々にではありますが意識が変わってきたようです。また、土健保さんと「ベジチェック」を実施し、社員の野菜摂取不足の自覚を促しました。禁煙対策では、従来から分煙や喫煙時間を設けるなど受動喫煙対策を行っていましたが、2018年からは禁煙外来治療費補助金制度を導入し、2021年に漸く第1号の申請がありました。今後もっと申請者が増えるようPRしています。感染症対策では、土健保さんの協力の下、『手洗いチェッカー』で感染予防の基本である手洗いがきちんと出来ているか確認しました。参加者からは「念入りに洗ったはずなのに意外に汚れている」と驚きの声。改めて手洗いの難しさ・大切さを学びました。長時間労働対策、ワークライフバランス推進では、WLB推進委員会を設置し、研修、工程管理方法の見直し、業務効率化検討、コミュニケーションの活性化などに取り組んでおり、定期的な報告会で好事例を水平展開しております。



手洗いチェック。結構汚れ残ってます。



ベジチェック中。野菜摂れていますか？

ホームページ

<https://www.fgc.jp/csr/employee/index.html>

味の素エンジニアリング株式会社

所在地 東京都大田区蒲田5-13-23 TOKYU REIT蒲田ビル2階

従業員数 187人

事業内容 食品工場建設・改修

(令和5年4月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

少子高齢化による生産年齢人口の減少により、労働力不足が顕在化しており、有能な人材確保のための競争が激しくなっている。

労働力確保のために従業員の雇用延長等を積極的に図らなければならない状況下であるが、高年齢になるにつれ、様々な疾患に罹患するリスクも高くなり、従業員の健康状態の悪化は企業の生産性を低下させることにつながる。更に、求職者からは、魅力のない企業と映り、人材の定着率の悪化等、有能な人材の確保にも悪影響を及ぼす可能性がある。

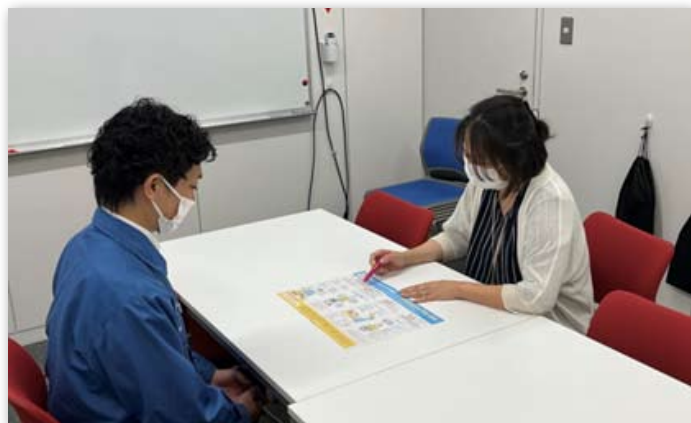
増加し続ける国民医療費は、健康保険組合等の財政悪化を招き、結果として健康保険料の上昇という形で企業負担の増加につながっている。このような企業負担の増加や生産性の低下を防ぐためには、健康保険組合や従業員に、個人やその家族の健康保持・増進の取り組みを委ねるだけでなく、企業が従業員等の健康保持・増進に主体的かつ積極的に関与する必要性が生じていると感じた。

また、味の素(株)が健康経営優良法人(大規模法人部門)～ホワイト500～に認定されていることに伴い、味の素グループとして健康経営に取り組むこととなった。

特に力を入れた取り組みとその効果

通年の健康診断後に社員全員が保健師または産業医と面談を行うようにしている。面談を行うことで健康診断結果の確認だけではなく、常に自身の健康状態を把握し、日常でも健康に留意して生活できるような意識付けを行っている。あわせて高残業者には疲労度アンケートを行い、業務の負荷状況・職場環境・健康診断結果を合わせ、総合的かつ継続的な健康管理を実施している。これにより安心して業務ができる環境を作ることができていると感じている。

2020年以降、新型コロナウイルスの影響で様々な生活様式の変化がある中で、テレワークを導入し通勤時間での感染リスクを削減することに積極的に取り組むとともに、出社時も安心できる職場環境作りを行う(パーティションやアルコール消毒液の設置他)など、コロナウイルス対策に力を入れてきた。結果として、職場内クラスター発生を防止し、重篤化した従業員も無く、ここまで乗り越える事ができた。また、これを機に、更に社内におけるテレワーク可能な働き方改革も加速し、ワークライフバランスの向上につなげることができた。



希望により、
面談をする準備
を整えています。

空気清浄機・
二酸化炭素濃度計
の設置



カジマ・リノベイト株式会社

所在地 東京都新宿区住吉町1番20号

従業員数 91人

事業内容 総合工事業

(令和7年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

もともと「会社の成長や生産性向上は社員の健康から」という組織としての考えがあって、そこに土健保の健康支援室担当者の勧めが契機となって健康経営に取り組みました。

従業員の生活を健やかなものにするためには、会社が健康であることが必須であり、その為にも、従業員が心身ともに気持ちよく働ける環境を整えることで生産性の向上を図り、良いスパイラルを生み出しています。

現在は、会社のホームページでも社員が心身ともに元気に働ける事業所を目指して、健康づくりに取り組むことを宣言し、社内外にアピールしております。

特に力を入れた取り組みとその効果

本社は中高年齢層の従業員が多く在籍していることもあり、「高血圧による健康リスク管理」に取り組み、血圧測定器を設置しております。また「時間単位での年次有給休暇制度」を導入しているため従業員が通院しやすい環境等を生みだし、高血圧などの慢性疾患を抱える従業員にとって、定期的な医療機関へのアクセス時間の確保に役立っております。

予防対策にも力を入れており、感染症への予防対策として各フロアの出入口前や執務室内の各要所に非接触自動アルコール消毒器を設置し、会議室等の個室には空気清浄機を設置しております。

また、熱中症予防対策として、熱中症対策飲料の提供や暑さ対策用作業服を支給しております。



血圧測定器を設置



非接触自動アルコール消毒器を設置

ホームページ

<https://www.kajima-renovate.co.jp/news/news-579/>

株式会社クリエイトセンター

所在地 新潟県新潟市中央区川岸町2丁目8番地1

従業員数 39人

事業内容 建設コンサルタント業

(令和6年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設コンサルタント業を営む我が社は健康に不安を感じ始める40～50代の割合が多くなっています。若手社員も含めて社員一人一人が心身共に健康で長く働けることが会社の健康経営につながると考え、健康意識を高めるために、ヘルスアップチャレンジに参加することにしました。また保険組合から「健康経営優良法人」制度について助言をいただき、認定を受けました。

これをきっかけに会社と社員が一体となって、継続的な取り組みを毎年増やしていこうと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

- ・受動喫煙防止対策として社内にあった喫煙室をなくし、リモートルームに改装しました。また、喫煙所は屋外の指定場所に移動したことで、喫煙室前を通ると気になっていたタバコのニオイや壁の汚れが解消されてクリーンな環境が整いました。
- ・健康診断受診率は毎年100%を達成しています。当社では30歳以上の社員は人間ドックを受診可能とし、費用は会社が全額負担しています。人間ドック受診日は特別休暇を付与しています。また、健康診断受診後に再検査や治療が必要な社員には担当者が受診を促します。
- ・インフルエンザ予防接種費用は保険組合の補助額との差額を会社が負担し、感染症予防に努めています。
- ・毎日朝礼時と昼休憩後にラジオ体操を行っています。朝は体をシャキッと目覚めさせ、昼はデスクワークで凝り固まった体をほぐし、眠気予防にもなります。ボタン一つでラジオ体操の音楽が流れるブタの人形を使用して楽しい運動習慣にしています。



喫煙室をリモートルームに改装



ラジオ体操の音楽を流す電池式のブタの人形

ホームページ

<https://www.ngk-center.co.jp/>

一般財団法人土木建築厚生会

所在地 東京都中野区中野2-12-11 フランボワーズガーデン中野2階 **従業員数** 8人

事業内容 土木建築業に従事する方々の福利厚生事業

(令和7年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当会は、会員（土木建築業に従事する者及びその家族等）の健康の維持・福祉の向上を目的としている一般財団法人です。

健康経営は、当会の事業目的にもマッチしていて、かねてより役職員の健康管理・健康増進を進めてきましたが、本格的に取り組むきっかけになったのは、職員の高齢化と「健康経営優良法人2017」認定制度が開始されたことによるものです。

高齢化は、健康リスクも高まりますので、職員の健康意識を高めることで、自主的に生活習慣や食生活等、健康管理に取り組んでもらえるよう健康づくりを推進しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

①ヘルスアップチャレンジ助成金を活用し体組成計を購入したことをきっかけに、健康管理日を設け、各自が体重、血圧、体脂肪率などの測定を実施することとなり、職員の健康意識の向上及び保持増進に役立っています。

②午後3時にはラジオ体操を行い日々の健康管理にも留意しています。

③オプション検査費用、疾病予防に寄与するワクチン接種費用の一部を補助することとしたため、ほぼ全員の職員がこれを利用しており、より一層の健康の保持増進と疾病予防につながっています。

④感染症対策として、**手指消毒装置の設置**を継続するなど、引き続き感染症対策に努めています。



ラジオ体操を毎日午後3時に実施しています



月一度各自測定し、実施日を登録しています



ホームページ

<http://www.dobokukenchiku-kouseikai.or.jp/others/torikumi.html>

ファインロードコンサルタント株式会社

所在地 新潟県新潟市西蒲区大潟 2031 番地

従業員数 15 人

事業内容 建設コンサルタント業、測量業

(令和5年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

舗装構造診断、路面調査、測量、各種土質試験、アスファルト試験を営む弊社は、従業員の平均年齢が50歳近いことに加え、主要業務が室内試験及び現場作業という体を動かす仕事メインとなっており、心身の健康を維持することが業務を遂行していくうえで最も大切なことだと思っています。これらのことがきっかけとなり、心身の健康維持を継続するという目的で、健康経営に積極的に取り組むようにしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病対策と健康維持のために、定期健康診断を充実させ、人間ドック、がん検診、婦人科検診の推進を行い、費用補助、特別休暇付与を実施しました。さらに検診で異常が見られた方は再受診を推奨するなど、積極的に恒常的な健康維持の確保に努めました。

また、禁煙日(スワン(吸わん)デー)を設定し、受動喫煙ゼロを目指す雰囲気作りに努めると同時に、適度な運動を行うということを目的に従業員参加型のウォーキングイベントを開催し、健康維持の意識付けを行いました。

さらに、従業員の健康意識を高めるために外部より管理栄養士を招き、従業員の食事のとり方などについて受講させています。

一方、コロナ及びインフルエンザ等のウィルス感染予防対策としては、従業員の毎朝の検温・記録を実施し、手洗いの励行、消毒液の設置などを細かく指導しています。



感染症予防対策 受付に消毒液を設置



組合管理栄養士による講義風景

丸善土木株式会社

所在地 長野県松本市南原二丁目20番4号

従業員数 19人

事業内容 土木・舗装工事

(令和7年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営への取り組みを強化することになったきっかけは、従業員の有所見率の高さでした。疾病の改善や健康保持について、全国土木建築国民健康保険組合の東京健康支援室に相談させていただき活動してまいりました。働きがいのある職場づくりと従業員の家族の健康にも力を入れるため、毎年様々な提案をいただきながらブラッシュアップしています。

2021年度からは『こころの健康づくり』の取り組みとしてストレスチェックを実施しています。2024年度からは『健康増進』の中でも特に熱中症対策を重点課題にしようとの事で、屋外屋内どこでも使用可能な冷却プレートを搭載した首掛け扇風機を配布しました。

特に力を入れた取り組みとその効果

- ① 定期健康診断受診率100%の徹底に加え、30歳以上の従業員は人間ドックに変更した。(各種補助制度の説明を行い「女性特有の健診等」オプション追加も可能)
- ② 健康増進として、2024年度は熱中症対策で「ネックファン」を配布 ※ヘルスアップチャレンジ助成金を活用
- ③ 食生活の改善として2022年度に「塩分計」を配布
- ④ 運動の推進として2020年度にバランスボールを配布、「歩活」への参加
- ⑤ 感染症対策として2021年度には「マスク・アルコール消毒液」の配布や各工事現場へのアルコール消毒液の設置
- ⑥ こころの健康づくりとして2021年度からストレスチェックを実施し、2023年度は睡眠モニター機能付きスマートウォッチを配布
- ⑦ 社内インターネットを利用し、どけんぽ保健師・管理栄養士作成の動画配信や東京健康支援室発行の「けんこう通信」の配信
- ⑧ 禁煙対策として屋外喫煙所の設置



冷却プレート
搭載式首掛け
扇風機



使用風景

ホームページ

<http://www.maruzendoboku.co.jp>

株式会社オクミカワ

所在地 愛知県北設楽郡設楽町清崎字水口5番地2

従業員数 13人

事業内容 建設業（舗装工事業）

（令和7年7月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

過疎化が進む地域で、従業員の高齢化が進み人材不足が続いている状況です。健康経営に取り組むことで、「従業員が安心して働け、地域社会に貢献、生産性が向上、離職率の低下、求人活動で有利になる」を期待しています。

当社の企業理念は【明るく、まじめに、一生懸命】【①明るく：従業員も家族も健康で、明るく、仲良く ②まじめに：嘘をつかない、真心があり、誠実で地域社会に貢献する ③一生懸命：全力をあげて会社の発展・継続に力を尽くす】です。

家族・地域社会・会社のために働くには、まずは「健康な体があつてこそ」名古屋健康支援室のヘルスアップチャレンジに参加して、指導を頂きながら健康経営に取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

1. 生活習慣病対策と女性の健康保持増進については定期健康診断の充実で、人間ドック、がん検診、婦人科検診の推奨を行い、費用補助及び特別休暇付与を実施しました。検診で「所見あり」の方は再受診を実施してもらい、体の異常の早期発見、治療を行ってもらいました。
2. ウォーキングチャレンジで、春・秋に1ヶ月間の累計歩数を社内で競争し運動の推進、事務所内禁煙、感染症対策で事務所机上に飛沫防止パネルの設置、夏季の現場作業時に空調服・グッズを支給して熱中症対策、週休2日の徹底（休日出勤者には振休取得の徹底）・残業時間管理による長時間労働の抑制等を行い、健康経営に取り組んでいます。



毎日の朝礼時のラジオ体操



感染症予防対策

ホームページ

<https://www.okumikawa.co.jp>

協和道路株式会社

所在地 石川県白山市平松町263番地1

従業員数 72人

事業内容 舗装工事業

(令和6年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

どの建設業者様も同じ状況だと思いますが、社員の高齢化や採用活動が年々難しくなり人手不足が喫緊の課題となっています。当社に於いても社員の高齢化が見られるようになりました。まずは会社として社員が健康で長く勤務できる環境を整えられないかを考えたことが健康経営に取り組むようになったきっかけです。

これまで会社を支え社業の発展に努めていただいた先輩社員の方々、これから会社を盛り上げてくださる中堅・若年社員の方々、どの世代にも共通した必要な取り組みが健康経営だと考えます。健康経営に取り組むことで会社の持続的な成長・発展が可能となり、人手不足解消に寄与すると考えます。また、全社を挙げて健康経営に関与し続けることが全てのステークホルダーに感謝、必要とされる会社となりえるものと思います。

社内制度の拡充、商工会議所様からの助言や自治体・全国土木建築国民健康保険組合様の制度の活用を行いながら健康づくりに関する整備を始めました。

特に力を入れた取り組みとその効果

【生活習慣病対策】

40歳以上の従業員に対し、年に1回の人間ドック受診の奨励、5年に1回の脳ドック・PETの奨励を行いました。受診に係る費用は社内規定を設けその範囲内で会社補助とし、中高年層への健康リスクの早期発見・健康意識の増大を目的としました。結果として40歳以上の従業員全員が人間ドック・脳ドック・PETを受診し従業員の実費負担もほぼ0でした。また、希望する従業員に対しては会社補助の範囲内で子宮頸がん検査やアレルギー検査などのオプション検査も人間ドックと同タイミングで実施し、従業員の健康意識の増大にも寄与しました。

【感染症対策】

会社に医師を招聘しインフルエンザ集団予防接種会を開催しました。例年約30名の従業員が希望し接種会に参加し、会社内で接種できることもあり好評です。その他、除菌液の設置や非接触型体温計の設置、従業員通用口に手洗い場を設置しました。

【ワークライフバランス】

完全週休2日制としました。平日・休日のon・offをしっかりとつけることで健康面・体調面の管理をしてもらうことと、地域の社会活動参加、自己研鑽等自己実現の時間に使うてもらえればと考えています。従業員が健康で長く勤務できる環境整備ができるよう会社として引き続き取り組んで参ります。



社員交流の一つ 新入社員歓迎会の模様



インフルエンザ集団予防接種会

ホームページ

<https://www.kyowa-road.co.jp/news/178>

畠山建設株式会社

所在地 広島市安芸区船越南3丁目9-3

従業員数 11人

事業内容 建設業（大工工事）

（令和5年6月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

全国土木建築国民健康保険組合 広島健康支援室担当者様よりお声掛け頂き、会社全体で健康経営に取り組むことになりました。

従業員の健康を第一に考えることにより、従業員が元気で生き生きと仕事に取り組め、結果的に会社の生産性向上につながると考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

女性の健康保持増進に向けた取り組みとして、骨粗鬆症予防の支援・女性の健康関連課題等に関する理解促進のため、全国土木主催の「女性のための健康教室」に女性従業員全員を出席させる等骨密度測定やセミナーを受講できる環境を整えています。受講した従業員からは「健康への意識が高まった」「日々の生活習慣を見直すきっかけになった」といった声が多く寄せられており、非常に好評でした。

また、感染症対策として、①空気清浄機を設置（ヘルスアップチャレンジ助成金を利用）、②多くの従業員がインフルエンザ予防接種を受けられるよう自己負担分を全額会社負担とする（全国土木の補助制度を利用）体制づくりに努めています。



全国土木主催の女性のための健康教室に参加



空気清浄機の設置（助成金利用）

株式会社ヒカリ

所在地 香川県丸亀市田村町1238

従業員数 102人

事業内容 建設業 フィットネスクラブ運営他

(令和3年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

3年前、健康経営優良法人認定制度を初めて知り、社員が心身ともに健康で元気に働ける会社を目指して、健康経営に取り組んできました。

以前から取り組んでいる、健康診断の全員実施、毎日のラジオ体操や感染症対策などに加え、こころの健康づくりや長時間労働への対応を行い、健康経営をさらに意識するようになっています。

生涯ありがたい笑顔を数多く作りたい、様々な生活のシーンでお客様や地域の皆様のお役に立ちたい、との思いで、ファーストコールカンパニーを目指しています。社員が心身ともに健康で、生き活きと仕事ができるように今後も積極的に健康経営に取り組んでまいります。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社においては、自社で運営しているフィットネスクラブレフコを定期的に開放し、社員が自由に利用できるよう運動機会を提供し、運動不足の解消やリフレッシュを図っています。

感染症対策として、インフルエンザ予防接種費用の会社負担、マスク、アルコール消毒液等の配布を行い、徹底した対策を行っています。

また、コロナの影響で昨年から延期していますが、社内運動会や社内旅行などコミュニケーション促進を目的としたイベントを実施しています。

社員の働きやすい環境を整え会社全体の生産性向上に繋がればと期待しています。



社内旅行集合写真



フィットネスクラブレフコ利用時の写真

杉山建設株式会社

所在地 熊本市東区御領二丁目 14 番 64 号

事業内容 建設業

従業員数 15 人

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設現場では、喫煙しながらコミュニケーションをはかるのが一般的と捉えている方が多いためか喫煙率が高い。そのためか高血圧や脳梗塞などの生活習慣病にかかる従業員が多かった。

また、健康への意識が低く、定期的な健康診断の受診も従業員全員は難しい環境だったため、まず、健康診断の受診率を100パーセントにすることから始めたいと考えた。

従業員の健康維持に向けての意識改革・健康増進（定期健康診断の受診）、生活習慣病対策（禁煙・糖分の過剰摂取の抑制）、感染症対策に取り組むようになった。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康増進を図るため、健康診断の受診率を100%にした。その健康診断結果に基づいてどけんぼの保健師・管理栄養士による保健指導も実施している。また、飲料に含まれる糖分の取り過ぎを防止するため、社内の自動販売機を撤去し、「水・お茶」などの糖分を含まない飲料を常備し、配布している。そのため、体重の大幅な増加は見られない。

禁煙対策のため屋内は禁煙とし、喫煙所を屋外に設置したところ、これまでは作業をしながら煙草を吸っていたが、作業を中断し喫煙をしなければならなくなったため、喫煙本数が減った人や禁煙に成功した人が数名みられている。

感染症対策のため、玄関、トイレなどにアルコールの設置、手洗いうがいを推奨するためのポスターを掲示した。昨年度及び今年度の感染症罹患者はいない。



社内冷蔵庫に常備している水・お茶



助成金を利用し購入した加湿空気清浄機

ホームページ

<https://ameblo.jp/sugiyama-corp/entry-12695433702.html>

株式会社中野工務店

所在地 熊本県熊本市北区楠野町1409

従業員数 38人

事業内容 建築工事業（型枠工事）

（令和6年7月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

どけんぽ福岡健康支援室との年一回の担当者打合会において初めて健康経営の話を聞き、どんなものだろうと思いながらもまずはヘルスアップチャレンジに宣言しました。

健康支援室から助言をいただきながら実際に健康に関する様々なことを計画・実践してみて、事業主としては労災事故の防止に繋がり、従業員には安心して働ける職場に繋がっていくのだと実感しました。

また、健康経営優良法人認定取得について求人票に載せています。いい人材を獲得できることを期待しています。

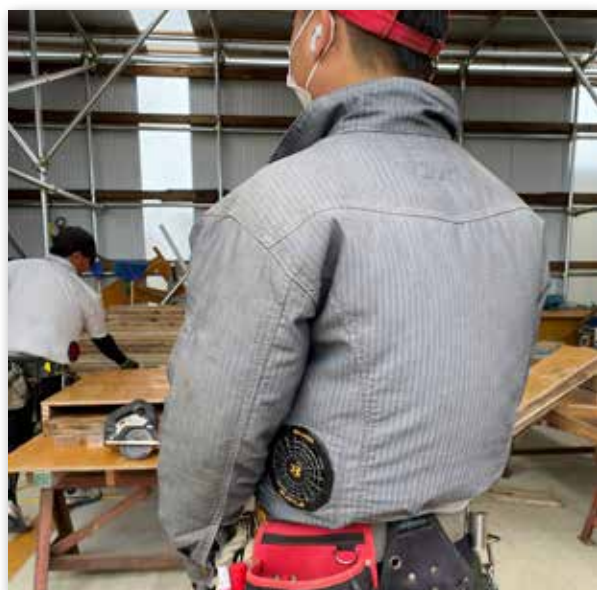
特に力を入れた取り組みとその効果

定期健康診断は毎年実施率100%です。令和5年度から40歳以上は人間ドックを受診することとしました。これは3月のどけんぽ主催の健康推進会議で他社の取組を聞いて当社でも取り入れたものです。

健診結果で要再検査・要精密検査対象者には100%受診勧奨し受診結果も報告させています。受診を渋る社員には上司や社長から勧めています。特定保健指導も会社として対象者全員が実施するよう勧めているほか、健診の事後指導としてどけんぽの保健師・管理栄養士の面談を実施しています。感染症対策としてインフルエンザ予防接種を勧め、費用はどけんぽの補助額の差額を会社が負担しています。なお、家族分のどけんぽへの補助金申請のサポートも行っています。

また、現場に設置した自動販売機に健康的な飲料を勧めるポスターを掲示し、過剰に糖分を摂取しないよう取り組んでいます。

このような取り組みを継続することで従業員も健康の大切さを真剣に考えるようになりました。



熱中症対策として
会社支給の
空調服



自動販売機に
健康的な飲料を
勧めるポスター
掲示

ホームページ

<https://nakano.wakuwaku-rc.jp/about/>